

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

目の隈

目の下にクマができる根本理由は、目の周りの皮膚が非常に薄く、皮膚バリア力が弱いためです。皮膚が薄く皮膚バリア力が弱いと、下にある血管やメラニンの状態が透けて見えやすくなり、それが「隈」として現れます。また、皮膚バリア力が弱いと、目の周りの皮膚は乾燥しやすく、乾燥による小じわやキメの乱れがクマを目立たせる原因となります。

クマの種類には、茶クマ、青クマ、黒クマの 3 種類があります。それぞれの原因と対策は異なります。

1. 茶クマ: 色素沈着やシミが原因で、目を擦るクセや紫外線が影響します。根本対策としては、皮膚バリアを強化すること、目を擦らないようにすることが重要です。また、対処療法としては、ベースメイクや日焼け止めを使用することが有効です。さらに、目元の皮膚は乾燥しやすいため、保湿をしっかり行いましょう。ヒアルロン酸やセラミドを含む保湿剤が効果的です。
2. 青クマ: 皮膚バリア力の衰えや血行不良が根本原因で、睡眠不足や栄養バランスの崩れも影響します。根本対策としては、皮膚バリアを強化し、有酸素運動などで血行を促進することが重要です。対処療法としては、ホットタオルを使用して血行を良くすることや、ベースメイクや日焼け止めを使用して隠すことが有効です。
3. 黒クマ: 皮膚バリア力や構造が弱く、影が原因で、眼窩脂肪が前に出てくることで影ができる状態です。化粧品での対応は難しく、対処療法的な対策としては、クリニックでの治療が有効です。

確かに、隈の対処法として、ベースメイクや日焼け止めを使用することが効果的です。また、目元の皮膚は乾燥しやすいため、ヒアルロン酸やセラミドを含む保湿剤でしっかりと保湿を行うことも効果的ですが、これらの効果はあくまで一時的であることを忘れないでください。